



平成 26 年度秋田大学評価センターFD・SD ワークショップを開催しました

平成 26 年 12 月 19 日（金）に「内部質保証力を高めるー多角的な視点から問題と解決策を考えるー」をテーマとした FD・SD ワークショップを開催しました。本企画では、教職協働のグループを 3 つ構成し、現在の秋田大学の教育の問題点と改善策を、グループ間のネゴシエーションによる合意形成活動を通じて考えました。

具体的には、まず、参加者の問題意識が高かった「秋田地域で活躍できる人材を育成する」という共通課題を設定し、そのための教育の改善策をそれぞれのグループで出し合いました。その後、3 つのグループ間で、提案や質疑応答を行い、どちらの相手グループの考えを取り入れると自グループの改善策を高められるかを基準に合意点を探りました。最終的に、グループ内でよりよい改善策を練り上げ、歩み寄れる相手グループに合意提案を発表しました。

参加した教職員に対する終了後アンケートでは、4 段階評定の平均値で「本ワークショップに関心を持てた」が 3.73 でした。また、「自グループのメンバーの考えを聞くことで理解が深まった」でも 3.73、「他グループの考えを理解することで視野が広がった」では 3.80 という結果が得られるなど、参加者たちの活動は有意義に展開されました。さらに、自由記述でも「一見考え方が違うようでも、目的が同じであれば、ネゴシエーションを重ねることで更に良い考えにまとめることが出来る」といった、ネゴシエーションの手法の有効性への声も聞かれるなど、本ワークショップは盛況のうちに終了しました。



グループ内での改善策の検討



グループ間でのネゴシエーション①



グループ間でのネゴシエーション②



相手グループへの合意提案の発表

「平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書等」並びに 「平成27年度国立大学法人秋田大学年度計画」の作成について

先に各担当部局等から平成 26 年度年度計画の進捗状況（中間報告）についてご報告いただいたところですが、引き続き、年度計画の遂行に取り組んでいただきますようよろしくお願いいたします。

また、平成 27 年度年度計画の策定にあたっては、第 2 期中期目標期間の最終年度であることを踏まえ、中期計画の達成状況を斟酌しつつ取り組むべき事項・目指す成果を明確にされますよう、よろしくお願いいたします。

広報へのご意見などは評価センターへ

TEL: 018-889-2206 (総務企画課評価室) / FAX: 018-889-2939/ E-mail: sokikaku@jimu.akita-u.ac.jp